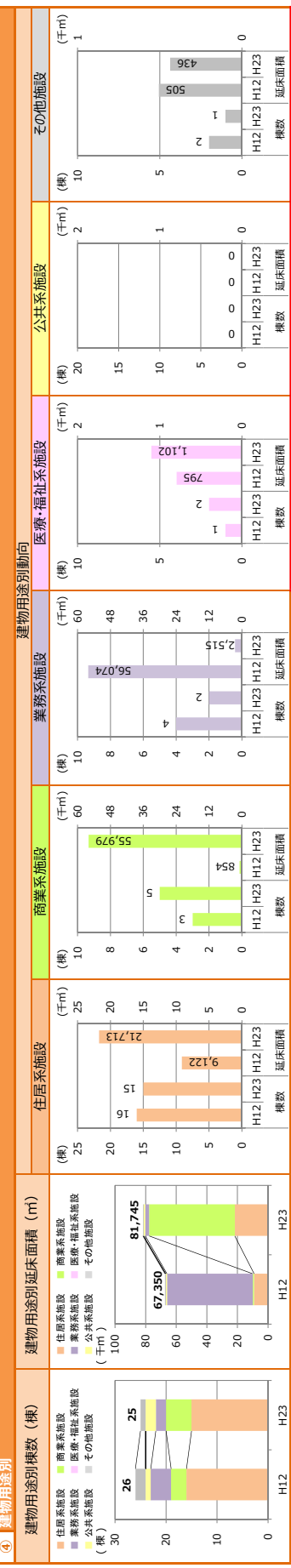


建物用途別況		土地利用状況		交通		その他	
建物用途別況	土地利用状況	交通	その他	建物用途別況	土地利用状況	交通	その他
商業施設	商業施設	商業施設	商業施設	商業施設	商業施設	商業施設	商業施設
医療・福祉施設	医療・福祉施設	医療・福祉施設	医療・福祉施設	医療・福祉施設	医療・福祉施設	医療・福祉施設	医療・福祉施設
公共施設	公共施設	公共施設	公共施設	公共施設	公共施設	公共施設	公共施設
その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他



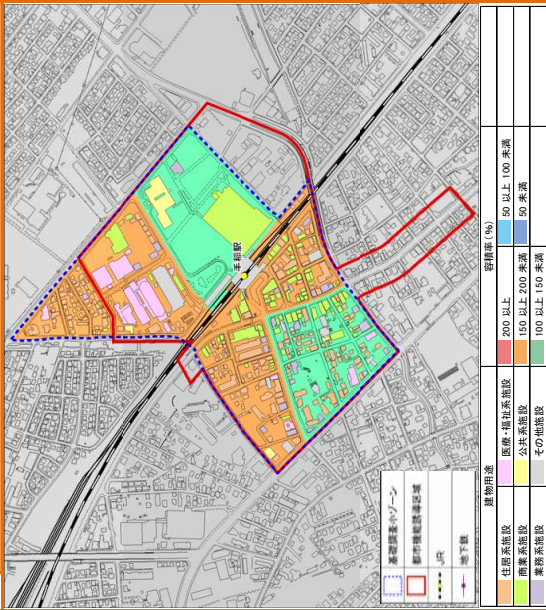
建物用途別況	延床面積 (m ²)	延床面積 (m ²)	延床面積 (m ²)	延床面積 (m ²)
居住施設	26	17	3	6
商業施設	25	21	3	3
医療・福祉施設	1	2	1	1
公共施設	0	0	0	0
その他	0	0	0	0

① 建物用途別況 ② 土地利用状況 ③ 交通 ④ 建物用途別況 ⑤ 建物老朽状況 ⑥ 低未利用地 ⑦ 人口動向 ⑧ 公共交通

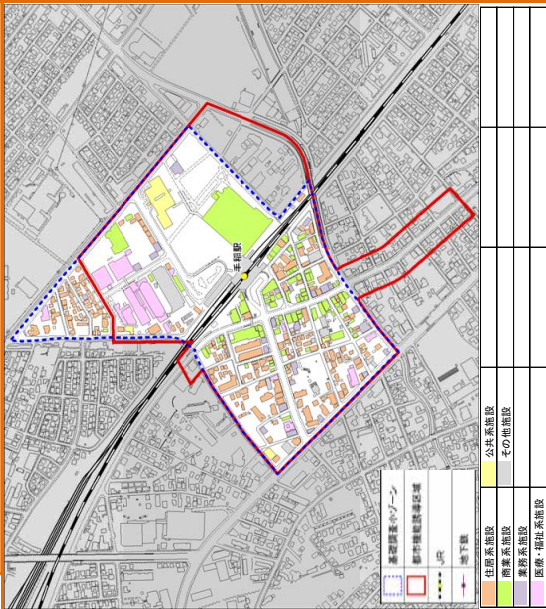
⑨ まとめ (拠点の特徴・動向)
 ・後継人口については、総数の変動は小さいが、高齢化率は上昇を続ける。
 ・地下鉄東武線の増設。北広町等を後継地とするグートウェイ拠点となっている。
 ・「丸の内線」が近接している。
 ・住居系及び商業施設の延床面積が増加、業務系施設の延床面積が減少している。
 ・低未利用地は減少傾向となっている。
 ・H12年～H22年の間で地下鉄の乗車人員は増加傾向となっている。
 ・その他

※①土地利用現況～⑥低未利用地面積：都市計画基礎調査データを小ゾーン単位で集計 (H12.3.31 及び H23.3.31 時点) ※⑦人口動向：国勢調査データを小地域単位で集計 (H12.10.1 及び H22.10.1 時点) ※⑧公共交通：都市機能誘導区域内の各駅の H12 年度及び H22 年度の一平均乗車人員を集計 (出典：札幌の都市交通データ)

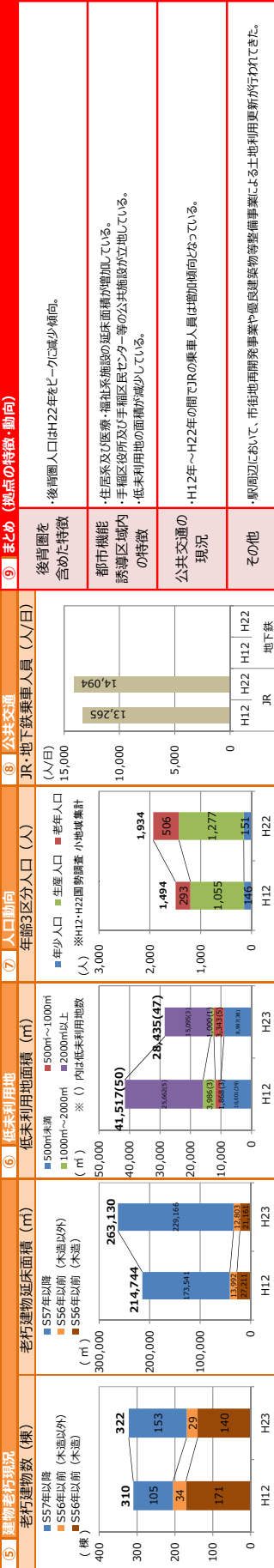
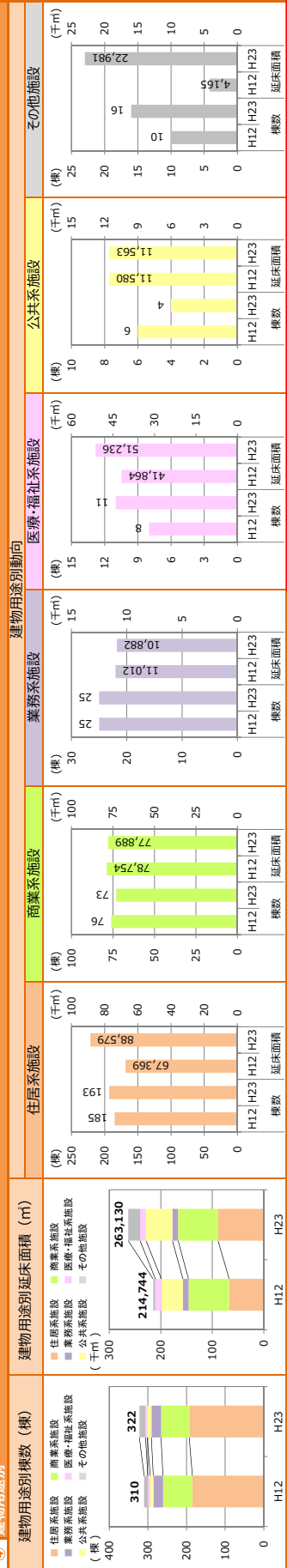
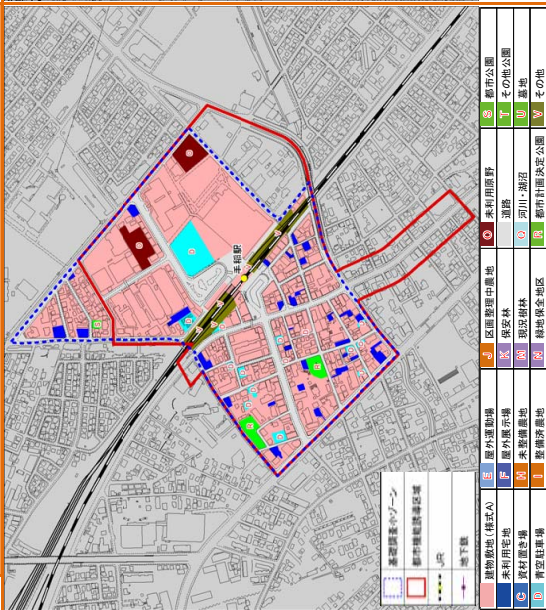
③ 各種建築



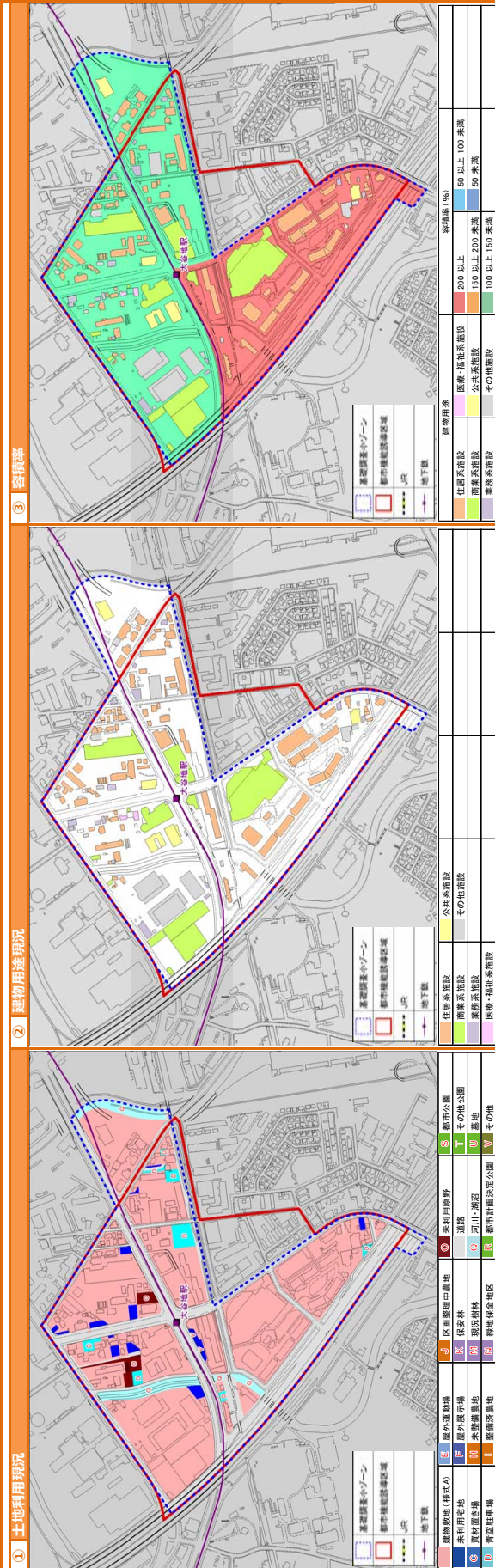
② 建物用途別状況



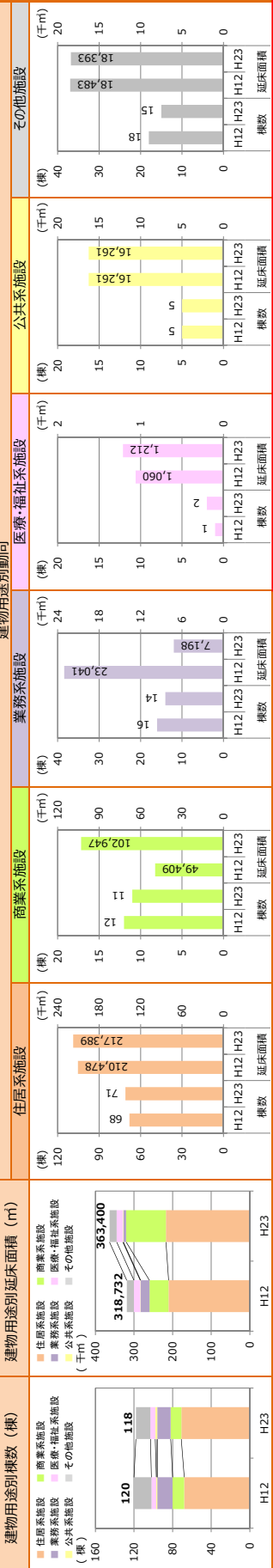
④ 建物用途別



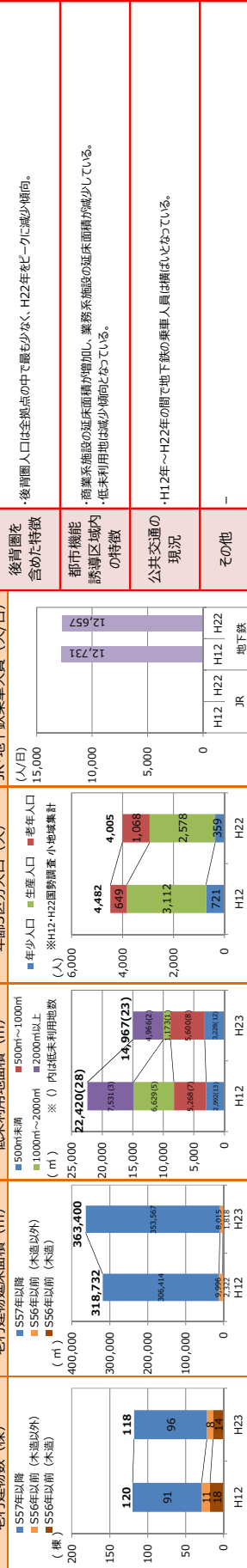
※①土地利用現況～⑥低未利用地面積：都市計画基礎調査データを小ゾーン単位で集計 (H12.3.31 及び H23.3.31 時点) ※⑦人口動向：国勢調査データを小地域単位で集計 (H12.10.1 及び H22.10.1 時点) ※⑧公共交通：都市機能誘導区域内の各駅の H12 年度及び H22 年度の一日平均乗車人員を集計 (出典：札幌の都市交通データ)



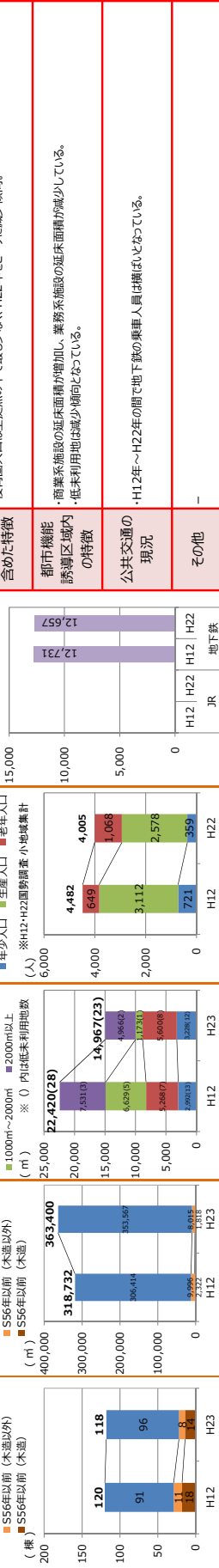
④ 建築物延床面積 (棟)



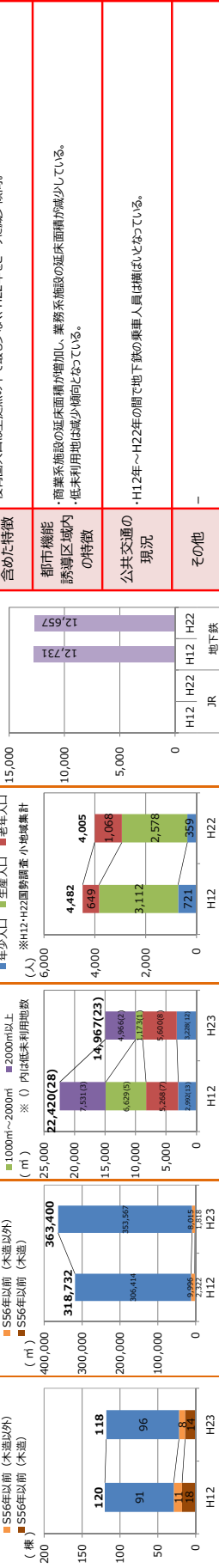
⑤ 建築物老朽状況 (棟)



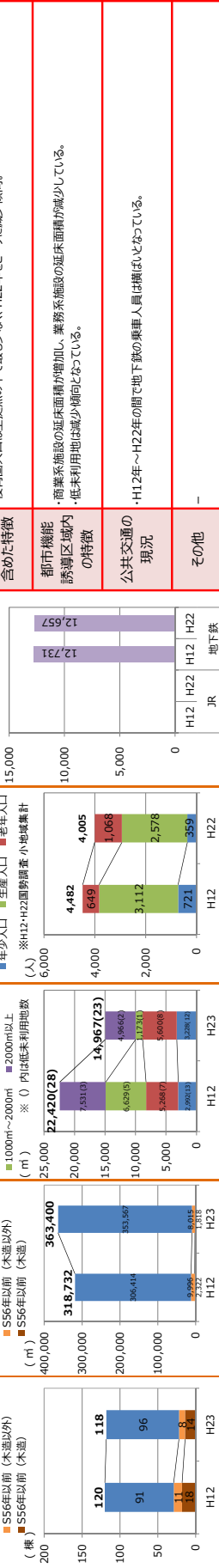
⑥ 低未利用地 (㎡)



⑦ 人口動向 (人)



⑧ 公共交通



⑨ まとめ (拠点の特徴・動向)

後習園を
含めた特徴

都市機能
誘導区域内
の特徴

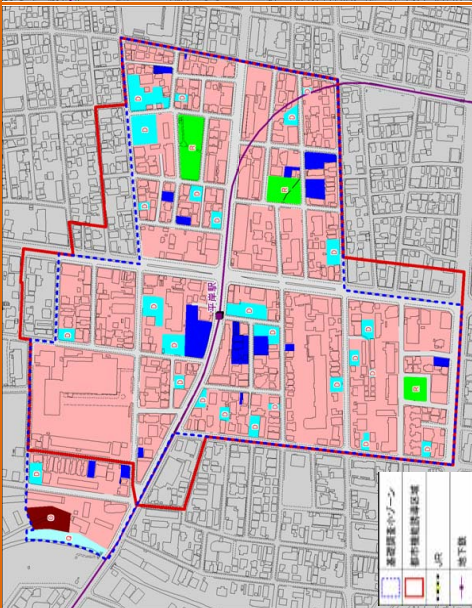
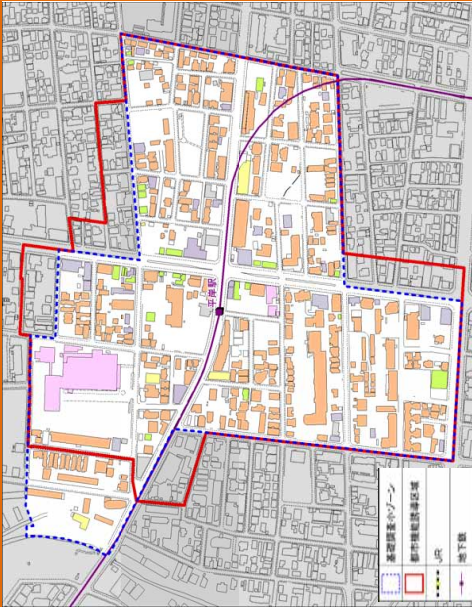
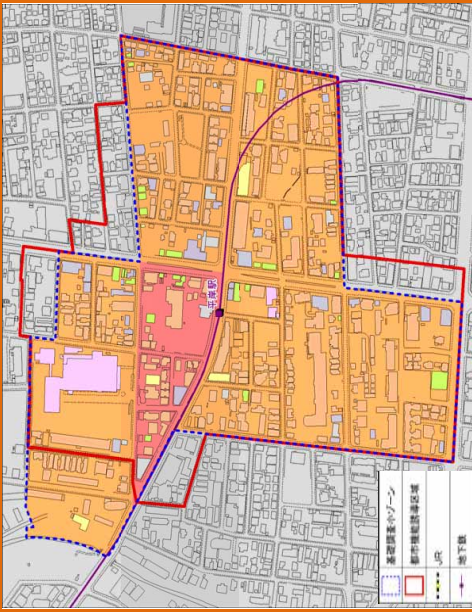
公共交通の
状況

その他

・後習園人口は全拠点の中で最も少なく、H22年をピークに減少傾向。
・商業系施設の延床面積が増加、業務系施設の延床面積が減少している。
・低未利用地は減少傾向となっている。
・H12年～H22年間で地下鉄の乗車人員は増加している。

※①土地利用状況～⑥低未利用地面積：都市計画基礎調査データを小ゾーン単位で集計 (H12.3.31 時点) ※⑦人口動向：国勢調査データを小地域単位で集計 (H12.10.1 及び H22.10.1 時点) ※⑧公共交通：都市機能誘導区域内の各駅の H12 年度及び H22 年度の一日平均乗車人員を集計 (出典：札幌の都市交通データ)

① 各種線

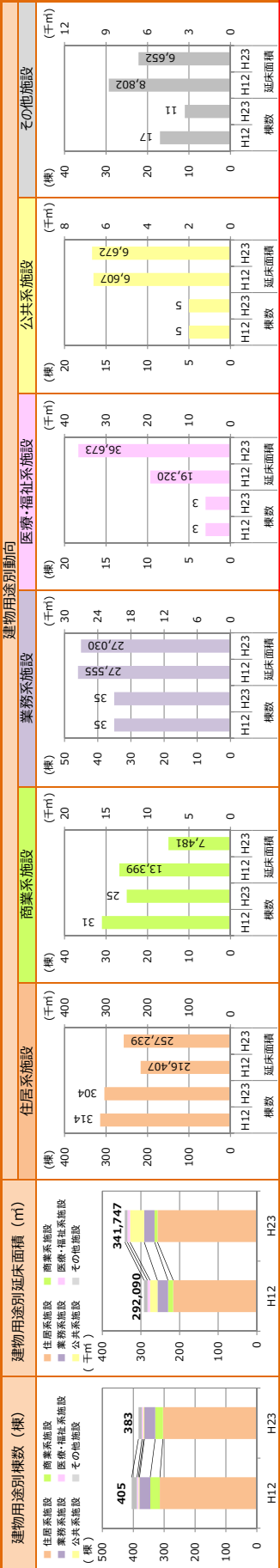


建物用途	延床面積(%)
住居系施設	50以上 100未満
商業系施設	50未満
公共系施設	200以上 200未満
その他施設	100以上 150未満

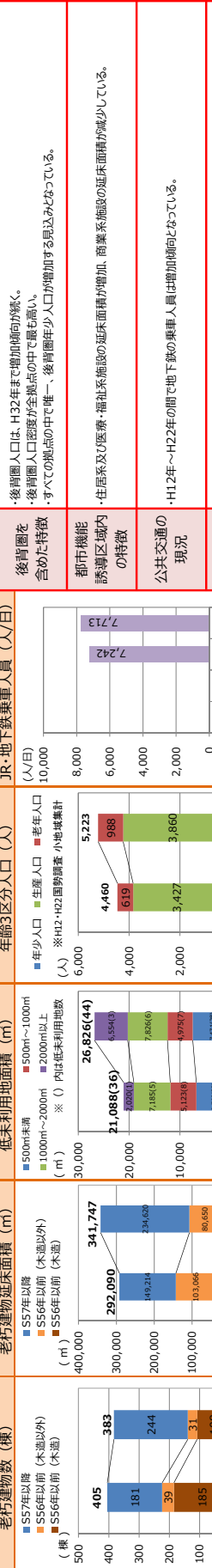
建物用途	延床面積(%)
住居系施設	50以上 100未満
商業系施設	50未満
公共系施設	200以上 200未満
その他施設	100以上 150未満

建物用途	延床面積(%)
住居系施設	50以上 100未満
商業系施設	50未満
公共系施設	200以上 200未満
その他施設	100以上 150未満

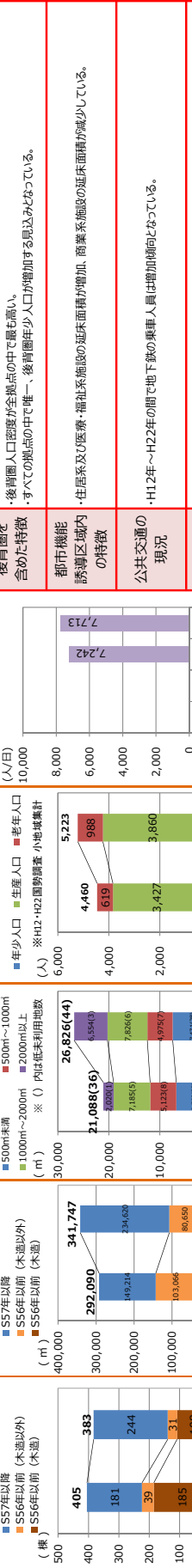
④ 建物用途別



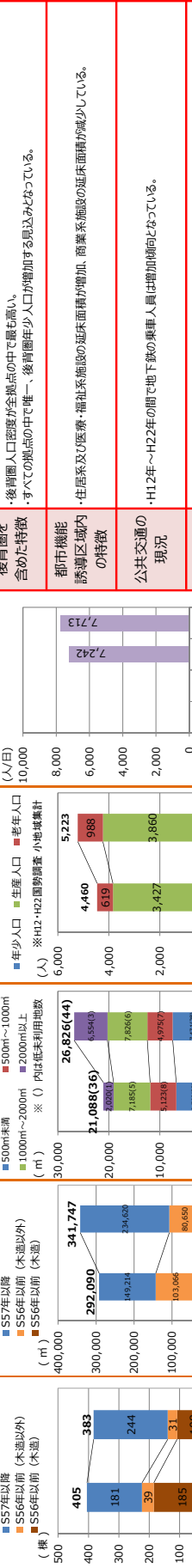
⑤ 建物老朽状況



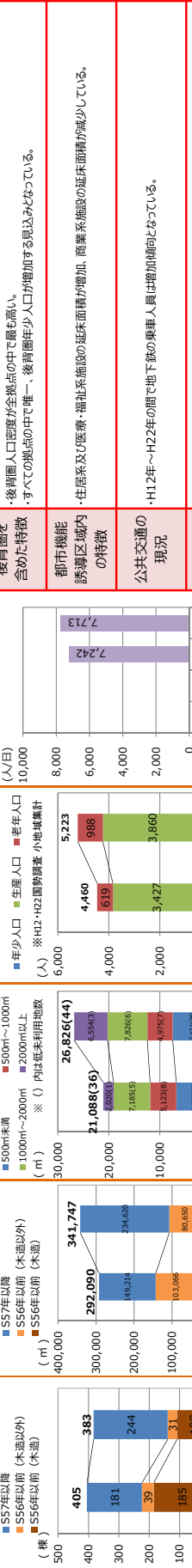
⑥ 低未利用地



⑦ 人口動向



⑧ JR-地下鉄乗車人員



⑨ まとめ

後習園を合めた特徴

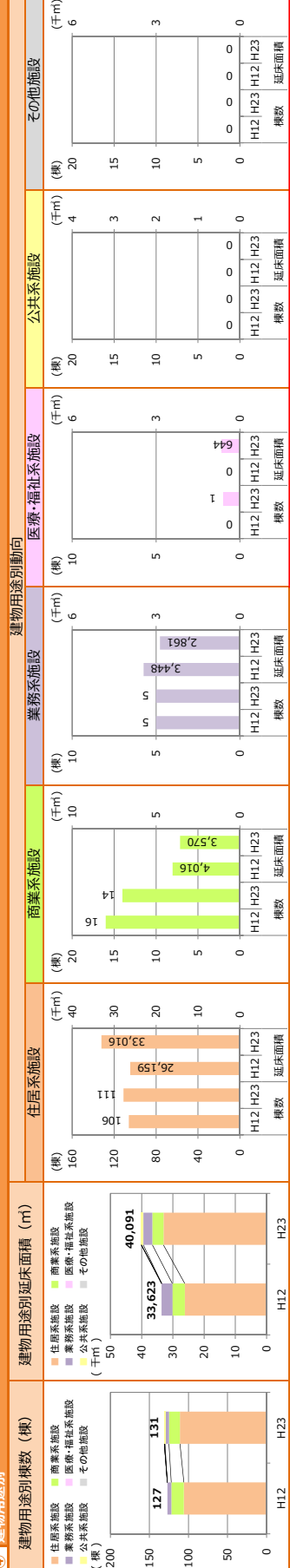
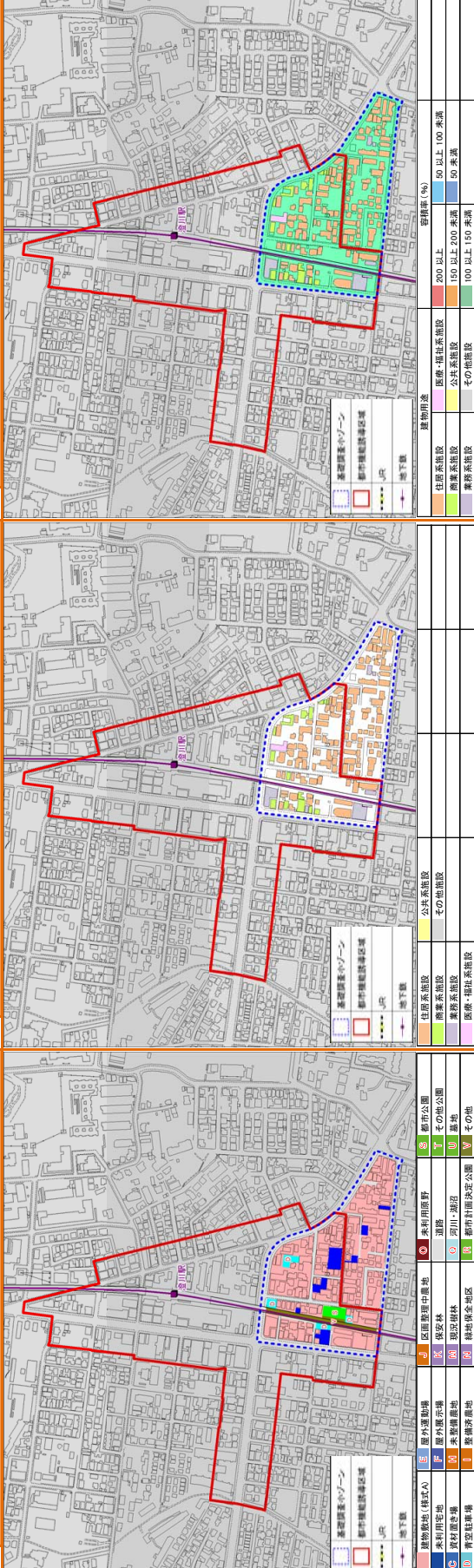
都市機能誘導区域内の特徴

公共交通の状況

その他

※①土地利用現況～⑥低未利用地面積：都市計画基礎調査データを小ゾーン単位で集計 (H12.3.31 及び H23.3.31 時点) ※⑦人口動向：国勢調査データを小地域単位で集計 (H12.10.1 及び H22.10.1 時点) ※⑧公共交通：都市機能誘導区域内の各駅の H12 年度及び H22 年度の一日平均乗車人員を集計 (出典：札幌の都市交通データ)

都市機能誘導区域 区分 地域交流拠点 地区名 面積



⑤ 建物老朽状況 (棟)

年次	H12	H23
557年以降	127	131
556年以前 (木造以外)	53	79
556年以前 (木造)	4	3
556年以前 (木造)	70	49

⑥ 低未利用地 (m)

年次	H12	H23
500m ² 未満	33,623	40,091
1000m ² ~2000m ²	33,623	40,091
500m ² ~1000m ²	33,623	40,091
2000m ² 以上	33,623	40,091

⑦ 人口動向 (人)

年次	H12	H22	H23
年少人口	796	92	746
生後人口	92	127	127
老年人口	632	559	60
合計	1,520	1,608	832

⑧ 公共交通 (人/日)

年次	H12	H22	H23
JR	11,251	10,079	10,079
地下鉄	0	0	0

⑨ まとめ (拠点の特徴・動向)

後背圏を合わせた特徴

- 後背圏人口の減少傾向が強い。

都市機能誘導区域内の特徴

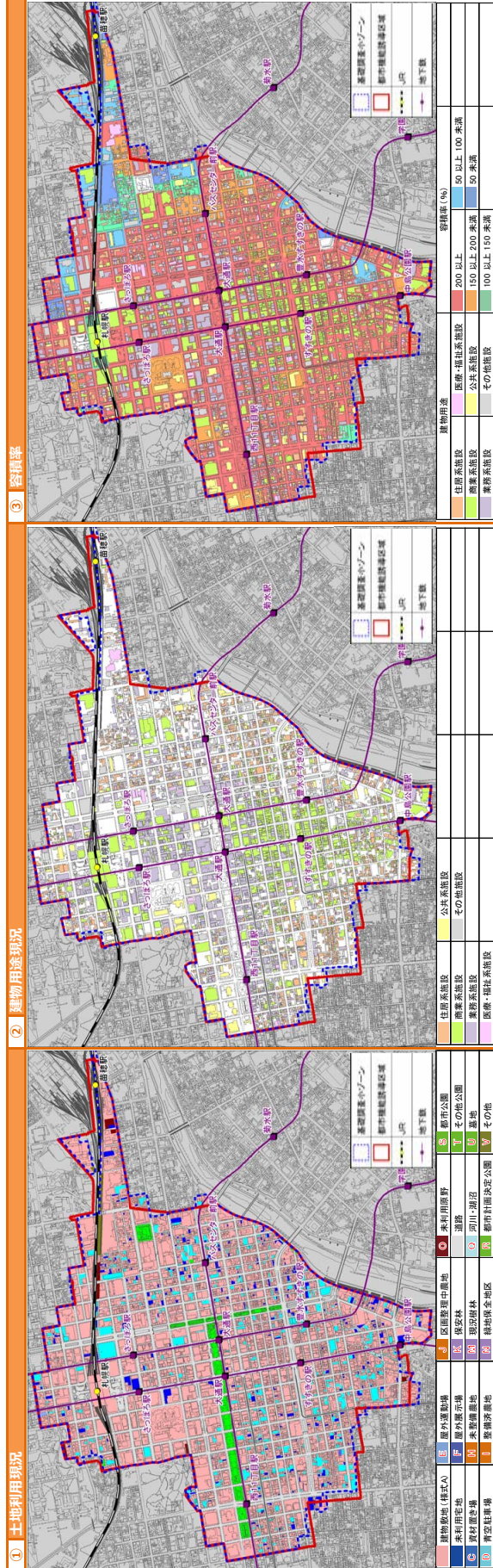
- 住居系施設の延床面積が増加しているが、区域内の人口は減少している。

公共交通の状況

- H12年~H22年の間で地下鉄の乗車人員は減少傾向となっている。

その他

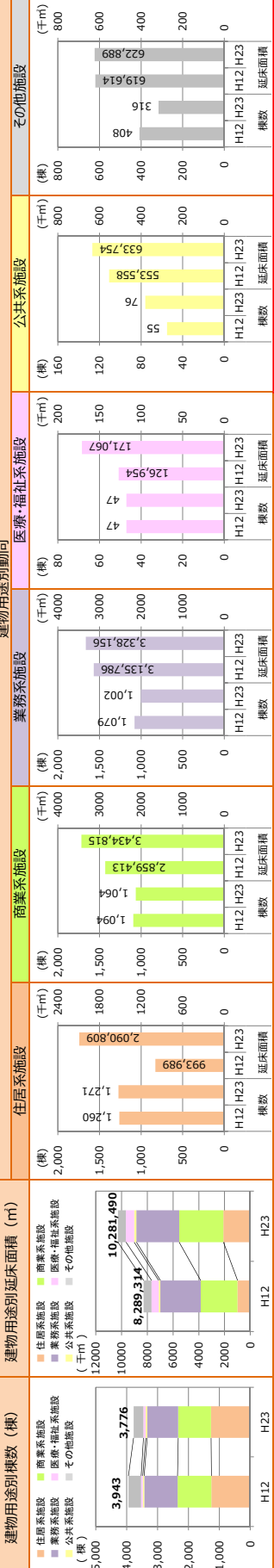
※①土地利用状況～⑥低未利用地面積：都市計画基礎調査データを小ゾーン単位で集計 (H12.3.31 及び H23.3.31 時点) ※⑦人口動向：国勢調査データを小地域単位で集計 (H12.10.1 及び H22.10.1 時点) ※⑧公共交通：都市機能誘導区域内の各駅の H12 年度及び H22 年度の一日平均乗車人員を集計 (出典：札幌の都市交通データ)



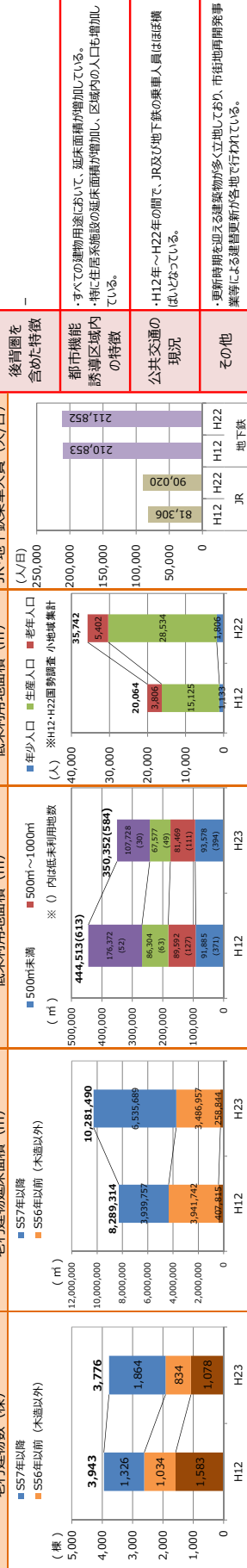
① 土地利用状況 ② 建物用途別状況 ③ 容積率

建物用途	住居系施設	商業系施設	業務系施設	医療・福祉系施設	その他施設
建物用途	住居系施設	商業系施設	業務系施設	医療・福祉系施設	その他施設
容積率 (%)	50以上 100未満	200以上	50以上 100未満	50未満	50以上 100未満
	100以上 150未満	150以上 200未満	100以上 150未満		50未満

④ 建物用途別



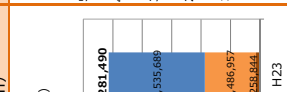
⑤ 建物老朽状況



⑥ 低未利用地



⑦ 人口動向



⑧ JR・地下鉄乗車人員



⑨ まとめ

都心部の特徴
 ・多くの建物用途において、延床面積が増加している。
 ・特に住居系施設の延床面積が増加し、区域内の人口増加している。
 ・H12年～H22年間で、JR及び地下鉄の乗車人員は倍増している。
 ・更新時期を迎える建築物が多く立地しており、市街地再開発事業等による建替更新が各地で行われている。

※①土地利用状況～⑥低未利用地面積：都市計画基礎調査データを小ゾーン単位で集計（H12.3.31及びH23.3.31時点） ※⑦人口動向：国勢調査データを小地域単位で集計（H12.10.1及びH22.10.1時点） ※⑧公共交通：都市機能誘導区域内の各駅のH12年度及びH22年度の一日平均乗車人員を集計（出典：札幌の都市交通データ）